

Mt.kogashi

NPO法人古賀志山を守ろう会
会報誌第12号 発行人池田正夫
発行日 H30年3月31日

事務局 〒320-0811

宇都宮市大通り 2-4-18

NPO法人古賀志山を守ろう会

HP <https://npo-mt-kogashi.jimdo.com>

Email npo.mt.kogashi@gmail.com

I 補助用鎖設置

今回、補助用鎖を設置した個所は、古賀志山主稜線の御嶽山と赤鳥居の中間岩場及び猪落東面岩場の三か所である。いずれも滑落死亡(2件)および滑落事故(1件)の現場であり、ヘリコプターが出動した場所である。こうした滑落事故の再発を防止するため補助用鎖設置を申請し、認可が下りたので設置した。

猪落東面岩



御嶽山と赤鳥居間の岩場東



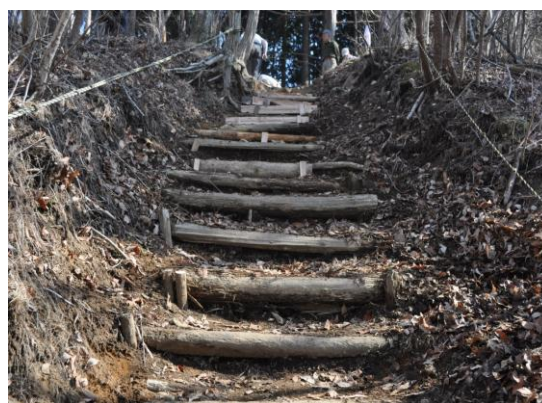
御嶽山と赤鳥居間の岩場西



滑落事故は、岩場を下る際に起きることが多い。多くの登山者には、岩場を降りる際は、足場をしっかりと確保して慎重に下りて貰いたいものです。

II 富士見峠～山頂間の階段整備パート 2

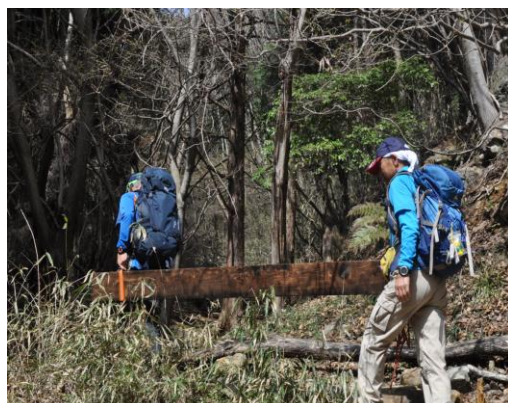
3月15日、雪積のため延期されていた富士見峠と古賀志山頂間の急な上り坂の階段整備を行った。階段と階段の間に小岩を敷き詰める作業も同時に行い、登り易いステップが確保され急な坂道の登り下りが容易になった。



III 富士見峠のベンチ改修 荷上げ作業の協力者

H30, 3, 29

組立作業



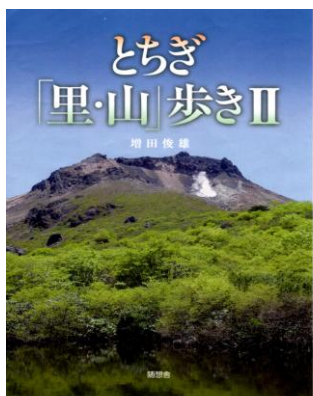
組立作業



組立てパーツは、いずれも重量があり背負子に載せて富士見峠までの長い道のりを運び上げた。今回の荷上げでは、事前に奈良忠男氏が2回に亘り荷揚げしてくれたこと。また常連組の広野氏グループによる板材4枚の荷上げ作業の協力は特筆に値する。尚、既存の老朽化した木製のベンチは残すことにした。

IV 著書紹介

当会理事増田俊雄氏が『とちぎ「里山・山」歩きⅡ』を随想舎から出版した。

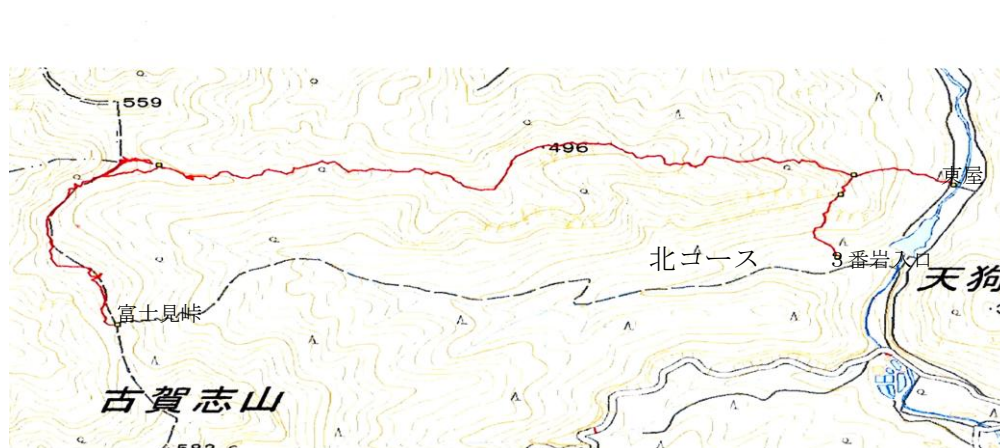


同氏は、この中で「今、古賀志山に想うこと」と題して2ページを当て、当会がこれまでに取り組んできた環境整備(道標、地名板、山名板の設置や山座同定盤の設置、ID番号の付設)などを写真入りで紹介すると共に、古賀志山への私感を述べている。版も大きく読み易く写真も多く、これらの山々にはもう一度、登ってみようとする意欲がわき起こるガイドブックである。

V 国有林中尾根登山道への貸与申請のための実測調査

3月28日(水)、日光森林管理署(2名)、市観光交流課(2名)、NPO法人古賀志山を守ろう会(3名)の合同で、国有林に属する中尾根の登山道の実測調査を行った。中尾根は尾根に沿って国有林と民有林が複雑に競合している。実測調査の目的は、宇都宮市が中尾根登山道を貸与申請するための事前調査である。

中尾根コース



中尾根ルートの起点は二か所。東屋コースと、北コースの途中から三番岩基部に至るコースで、途中合流して中尾根を西進し中尾根最高点手前の岩場基部を左に巻いて中尾根最高点に達するコースである。これによって懸案の中尾根の環境整備が可能になる。これまで設置することが出来なかった道標、地名板、緊急連絡時現在地番号(ID番号)等の設置が可能になることを期待している。